

# (医)香徳会 関中央病院グループ

関市・医療機関

平成27年度  
認定

サービスの品質向上を図るクオリティーコントロール(QC)活動で、職場改善に注力。年休を取得しやすい環境づくりなど、ワークライフバランス(WLB)も推進し、看護師の離職率低下を果たす。

従業員数／男性64名 女性238名 計302名 ※平成31年1月現在

## 仕事と生活の調和を大切に



院内保育所では、定期的に様々なイベントがあり、生後1ヵ月半から安心して子どもを預けることができる。

関中央病院では、2005年から職場の問題解決を目指す、クオリティーコントロール(QC)活動に力を入れている。解決策を発表するQC大会は平成06年から開催し、今年で16回目。院長の植松孝広さんは、「各部署が切磋琢磨し、回数を重ねるほど改善の数も質も向上している」と手応えを語る。

その姿勢はワークライフバランス

(WLB)にも及ぶ。13年には看護

師離職率が14.5%と、全国平均の

11%を上回り、改善に取り組んだ。

「看護師からは、忙しくてやりがい

を感じない、年休が取得しにくい

という声が多かった」と院長補佐

兼看護部長の山中ひろみさんは振

り返る。翌年には、WLB委員会を

立ち上げ、①看護(仕事)の質向上

とやりがい、②有給休暇取得率の

向上、③情報発信と情報の共有化

に取り組んだ。①やりがいについて

は、患者へのケアについて話し合う

「看護を語る会」を2ヶ月に1度

開催するなど満足度向上に努めた。

②有給休暇取得については、ポスタ

1での啓発や所属長からの声かけ

を実施した。③情報の共有化につ

いては、WLB新聞を年4回発行

している。これらの活動により、職

員満足度調査における仕事のやり



患者と看護師の関係も良好で笑顔がこぼれる。

がいは、9.4%上昇、年休の取りやすさは12.8%上昇するなど、全47項目が改善。看護師離職率も全国平均よりも低い5.8%と大幅に減少した。

また、院内保育所は、24時間体制で小学校6年生まで受け入れ可能。内科医の小木曾結衣さんは、「いつでも安心して預かってもらえて助かっている。近くにいることで安心して働ける」と笑顔を見せた。